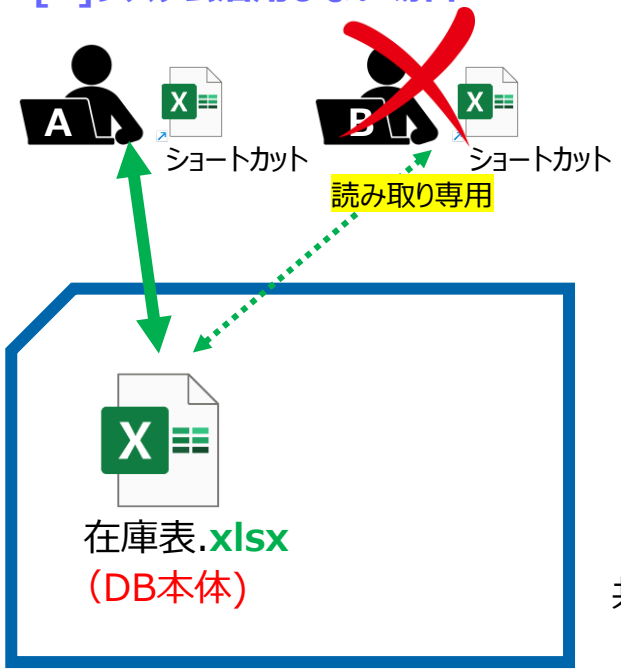
Excelファイルを、複数人で同時に利用する仕組み 【データ更新処理イメージ】

[1]システム活用しない場合

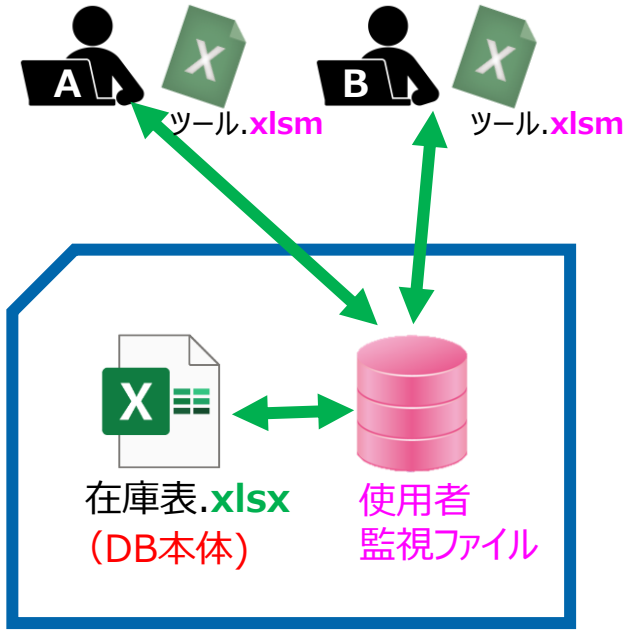


(DB本体)は、
共有フォルダに格納

各自が、在庫表を「ショートカット」で開いて、
編集する運用では、最初の一人目が、
ファイルCloseするまで、誰も更新できません。

誰かが開いている間、他のメンバーは、
[読み取り専用モード] になります

[2] システム活用する場合



ローカル環境の ツール.xlsm から、
編集内容を反映更新する仕組みなら、
同時に複数人で運用できます。

共有フォルダ内の在庫表.xlsxを、
開いて編集する運用ではありません

【ファイル更新の流れ（排他制御）】

1．ツールから[DB更新]ボタン押下
2．監視ファイル状態チェック
　a.誰かが使用中ならWaitリトライ
　b.未使用なら、3．へ
3．監視ファイルへPC名を書き込み
4．在庫表ファイルを開く(Open)
5．在庫表に値を出力(Write)
6．在庫表を更新(UpDate)
7．在庫表ファイルを閉じる(Close)
8．監視ファイルに書き込んだPC名をクリア
9．「更新が完了しました！」

通常
1秒未満
(要検証)

（Point）データーベースは単なる「データ格納庫」のため、データ件数によってはExcelでも十分に代替可能です。弊社でも、Access開発は可能ですが、DB構築後、ユーザ側のDBメンテナンスはサポート対象外となります。このため、わずかな修正も、都度お見積もりという構造に縛られる可能性が高まりますので、DB選定には、十分な検討が望ましいと思われます。